

しっとり依存してくるダウンー妹の、雨降り密着搾精えっち
トラック１…土砂降りの中で

SE…雨の音

(雨の中、傘を差さず佇んでいるヒロイン)

【位置…正面50センチ】

……あ。
来たんだね。お兄ちゃん。

…そうだよ。雨に打たれてたの。
今日は本当に土砂降りだから、
見ての通り、ずぶ濡れになっちゃったよ。

…うん。わかった。
お兄ちゃんが帰れって言うなら、帰るね。

手、つなご？ お兄ちゃん…。

SE…足音

【位置…右耳側30センチ】

……今日は聞かないの？
私がどうして、こんな事してるのか。

…そうだね。
聞かれたところで、どうせ私はぐらかすだろうね。
学習したんだ。お兄ちゃんも。

……まあでも。
構って欲しくてこんなことしてる訳じゃないってことは、
言っておこうかな。

……別に、迎えに来なくていいんだよ？
ほっといってくれば、そのうち帰るから…。

……そっか。心配か。

そうだよね。

雨が降るたび、傘もささず外へ出て、
立ち尽くしてぼーっとしてる。

そんな妹の異常行動、優しいお兄ちゃんなら、心配するよね。

……。

……あのさ。お兄ちゃん。

お兄ちゃんが辞めて欲しいって言うなら、辞めてあげるよ？
雨の日に、外へ出るの。

……うん。本当。

でも、もちろんタダじゃなくて…。一つ条件があるの。

…とりあえず、

家に帰ってシャワーを浴びてから、続きを話そっか。お兄ちゃん。

トラック2…条件

SE…ノック音

【位置…正面50センチ】

……シャワー終わったよ。お兄ちゃん。

うん。話の続き、しよっか。

……でもその前に、お兄ちゃんのベット、寝そべるね。

SE…ベットへ寝る音

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

仕方がないでしょ？

私ずっと、ずぶ濡れで外にいて、結構消耗してるんだもん。
起きてお話するのは、つらいんだよ。

ほら。お兄ちゃんも私の隣、寝てくれないかな。

声を張るのだって、体力使うし。

できれば密着して、お話しようよ。

…その小言は聞き飽きたよ？

夜中とか、私がお布団にもぐり込むたび、毎回言ってくるよね。
それでも結局、折れるのはいつもお兄ちゃんの方。

今回もどうせ、そうなるだろうし。無駄なやり取りはやめようよ。

…おいで。お兄ちゃん。

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ぎゅーう。

冷たい？

そうだよ。私の体、冷え切ってるから、シャワーを浴びた程度じゃ、そんなにあったまららないの。

でも、こうしてお兄ちゃんとくっついてれば、そのうちあったまるんじゃないかな。

だからこのまま、お話しよっか。お兄ちゃん。

……。

えっと…。

私が雨の日に外へ行くのをやめさせたいなら、一つ条件があるってところまで、話したよね。

じゃあ。その条件を教えるけど…。

その…。お兄ちゃんにはね。

雨が降るたび、私とエッチを、して欲しいの。

聞き返さないでよ。十分聞こえたくせに。

えっち…。

えっちしよう？ って、言ってるんだよ。

冗談？ 今のが冗談に聞こえたの？ お兄ちゃんには。

ほら、条件を提示したんだから、早く回答を聞かせて欲しいな。この交換条件を、飲むか飲まないか…。

……妹とえっち、してくれる？ お兄ちゃん。

……そっか。ダメか。

……あーあ。フラれちゃった。

……。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

……じゃあ。

今後とも私は雨が降るたび、
お外へずぶ濡れになりながら出かけるね。

体の弱い私だから、風邪をひいて寝込むこともあるだろうけど。
その時は看病してくれると嬉しいな。お兄ちゃん。

SE…ベットから出ようとする妹を引き留める。

【位置…正面斜め左耳側50センチ】

……なあに？

そうだよ。

私、お兄ちゃんのこと好きだったの。

…代案なんかないよ。

お兄ちゃんが思ってる以上に、

私はこの、雨に打たれる行為に価値を見出してるから。

お兄ちゃんとのえっち以外の条件で、
この行為を辞めることは無いだろうね。

……。

……ん？

……。

【ここからの演技は、

「思い通りになった、しめしめ…」みたいな感情です。】

【位置…次のセリフ、正面15センチへ移動しながら】

へえー…。そっか。

妹とえっち、する気になってくれたんだ。
近親相姦、しちゃうんだね。

じゃあ、下脱いでよ。お兄ちゃん。

トラック3…生ハメ騎乗位えっち

【位置…正面斜め右耳側30センチ】

ふーん。これがお兄ちゃんのおちんちなんだ……。

なんか、私の記憶とは別物だね。

一緒にお風呂に入ってた頃は、つるつるで可愛かったのに、今は大人おちんちんで、あんまりかわいくないかも。

…えっと。

えっちするなら、もっと大きくしなきゃいけないんだよね？
まだふにふにで、柔らかい状態だし……。

…うん。なら興奮させてあげるね。

実の妹で勃起しよっか。お兄ちゃん。

【位置…正面30センチ】

んっ…。しょ。

ほら。私も下を脱いだよ。

こうやって、お兄ちゃんをまたいで膝立ちになれば、
私のおまた、良く見えるよね。

どう？　これが妹のおまんこだよ。

お兄ちゃんのと違う、まだつるつるのおまんこ…。
押し広げて、中もしっかり、見せてあげるね。

くぱあ…。。

どう？　女の子の穴、ちゃんと見えるかな？

ピンク色の、トロトロの狭い穴に、処女膜が張って……。
見てるだけでおちんちん、挿れたくなってくるでしょ。

あ……。おつきくなった。

そっか、おちんちんって、こんなに大きくなるんだ。

ホント、あの頃のかawaii象さんはどこへ行ったのやら……。

でも、嬉しいよ、お兄ちゃん。

そんなに私のおまた見つめて、おちんちんビンビンにして……。妹おまんこで興奮する、悪いお兄ちゃんに、ちゃんとなれたね。

【位置…次のセリフ、正面5センチへ近づきながら】

じゃあ……。早速挿入しよっか。お兄ちゃん。

近親相姦、はじめよう？

……ゴム？

別にいらないよ。そんなもの。

残念ながら私、発育遅くてさ、

まだ赤ちゃんができる体に、なっていないから。

んっ……。 (おちんちんをあてがう)

ほら見て。私のちいさなおまんこに、

お兄ちゃんのおつきなおちんちんがあてがわれてるよ。

私の体が未熟なのもあって、

こうしてみると、本当に入るのか分からないくらいの差があるね。

……でも。全体重かけて、無理にでも押し込むから。ちゃんと見ててね。

いくよ。

さーん。にーい。いち。

はい。ぬぶぶ……。

【演技…ここから、ちょっと苦戦しながら挿入】

あっ…。うっ…。んっ…。……。

はあ……。ふう…。

あっ…。んあ…。ああ…！（挿入）

【位置…次の2行、右耳側0センチへ移動しながら】

【この2行は呼吸を整える感じです】

はあ……。はあ…。はあ…。はあ…。
ふう…。はあ…。はあ…。はあ…。

【ここから囁き（有声音）】

……奥まで入ったよ。

お兄ちゃんのおちんちん、妹のおまんこをみちみち押し広げて、
ずっぷり貫いてる。

もう取り返しがつかないね。お兄ちゃん。

私達の兄弟としての関係…。

私のおまんこと一緒に、いびつに歪んでいくのを、感じるよ。

んっ…。ふう…。

……うん大丈夫。大して痛くないよ。

…でも、圧迫感は強いかな。

やっぱり私のちっちゃなおまんこには、

お兄ちゃんのおちんちんは大き過ぎたみたい。

でも、おちんちん出し入れしてれば、

そのうち慣れるというか…。

このおまんこ、お兄ちゃんおちんちんの形に、なると思うよ。

だから。ピストンするね。

妹のおまんこ、おちんちんで拡張しよっか。お兄ちゃん。

SE…ピストン開始

んっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。
あっ…。んっ…。ふう…。はぁ…。

ふふっ。とちゅ、とちゅ、って、奥にあたって…。

んっ…。はぁ…。

ちよっただけ…気持ちいいかも…。

あっ…。んっ…。はぁ…。はぁ…。

お兄ちゃんも、気持ちよさそうだね。

お顔、トロトロだし、喘ぎ声も、漏れてるし…。

はぁ…。はぁ…。

近親相姦、気持ちいい？

妹に犯されるの、楽しいかな。

はぁ…。ふう…。んっ…。はぁ…。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

キスも…、しよっか。お兄ちゃん…。

【キス20秒】

…ファーストキスだよ。

私の女の子、全部お兄ちゃんに、あげちゃった…。

んっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。

ふふ。だらしな顔。

れろれろって、舌を絡めると…、脳みそ、トロけちゃうよね…。

はぁ…。はぁ…。んっ…。あっ…。

ところで…。ところでさ…。お兄ちゃん…。
んっ…。ふう…………。

SE…ピストン、一度中断

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

【演技…ここから脅すように（ヤンデレっぽく？）】

いつまでそうやって、腰を動かさないつもりなの？

…不思議だなあ。

初めてのエッチって、

多くの場合は男の人がリードするものじゃ無いのかな？

ましてお兄ちゃんは私より年上で、

発育も健康状態も、良いはずなのに…………。

ねえどうして？

どうしてお兄ちゃんは、体の弱い妹に上に乗られて、
腰を振られてるこの状況を、良しとしてるの？

確かに私が求めたえっちなわけだけど。

自分がリードしなきゃ、とか。

そういう男としての気概は、ないのかな？

【演技もとに】

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

ふふ。冗談。謝らなくていいよ。

私、お兄ちゃんのこととは、ちゃんと理解してるから。

お兄ちゃんは、こういうのが好きなんだよね。

女の子に上に乗られて、主導権を握られて、一方的に犯される…。

こういう情けないセックスが、嬉しいんでしょう？

知ってるよ。お兄ちゃんがそういう性癖だったこと。

妹だからね。

もちろん性癖だけじゃなく、

好きなモノ、嫌いなモノ。

性格も哲学も、お兄ちゃんの事は大体、理解してるつもり。

…いいよ、お兄ちゃん。

お兄ちゃんが楽しめるように。

このまま私がお兄ちゃんの上で腰を振って、
いっぱい犯してあげる。

でも…。

こんなえっち、お兄ちゃんの性癖を理解してる私にしかしてもらえないから、勘違いしないようにね？

普通の女の子だったら、

こんな情けないセックスには付き合ってもらえず、サヨナラだよ？

初めてが妹で良かったね。お兄ちゃん……。

SE…ピストン再開

【キス20秒】

んっ…。あっ…。はあ…。はあ…。

あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

ふふ。情けないなあ…。

はあ…。はあ…。

私の下でお顔トロトロにして…。

んっ…。あっ…。

女の子みたいに、喘いじやって。
はあ…。はあ…。ふう…。んっ…。

…私ね。お兄ちゃん…。
お兄ちゃんにレイプされるのが、夢だったんだ…。

んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。

夜中お兄ちゃんのお布団に、潜り込むときもね…。

んっ…。あっ…。

何か、間違いが起こらないかなって…。

そういう気持ちだったの…。

はあ…。はあ…。んっ…。ふう…。

…笑える話だね。

ふう…。はあ…。

お兄ちゃんはマゾで、

レイプする側の思考は持ち合わせてないって、分ってたのに…。

【位置…次の喘ぎ、右耳側のセンチへ移動しながら】

んっ…。はあ…。ふう…。はあ…。

【ここから囁き（有声音）】

…正直私、イライラしてたよ。

あっ…。んっ…。

いつになっても手を出す素振りを見せない、お兄ちゃんに…。

はあ…。ふう…。

それどころかお兄ちゃんは、

勃起の一つも…、してくれなかったよね…

んっ…。あっ…。

ほんと、馬鹿みたいだなあ…って。感じてた。

はあ…。ふう…。んっ…。あっ…。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

ふふ。だから今はね。ざまあみろって、思ってる…。
んっ…。ふう…。

あの、しっかりモノのお兄ちゃんを、
あっ…。んっ…。

妹で興奮して、妹とセックスする、
ダメなお兄ちゃんに、墮とすことが出来て…
はあ…。ふう…。

胸がすく思いだよ、私…。
んっ…。ふう…。んっ…。あっ…。

ほーら、妹のおまんこだよ？
近親相姦だよ？ お兄ちゃん。

んっ…。あっ…。
妹の大切な処女おまんこを、

お兄ちゃんのおちんちんがずちゅずちゅ貫いてるけど…。
抜かなくていいのかな？

あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

ふふ。喘いでばっかで、全然抵抗しない…。
妹に犯されるの、楽しいね。お兄ちゃん…。

んっ…。あっ…。んっ…。はあ…。

このまま、お兄ちゃんに襲って貰えなかった、苛立ちを…
真っ黒な思いのたけを、ぶつけてあげる…。

はあ…。はあ…。

妹のおまんこで気持ちよくなる、最低な快感を、満喫してよ。
んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。

もう、今まで通りには戻れないよ。
クズお兄ちゃん…。

【キス20秒】

んっ…。あっ…。はぁ…。ふう…。
…んー？ もう出るの…？
妹のおまんこに…。お兄ちゃんの精子、
びゅーびゅー吐き出しちゃうの…？
んっ…。あっ…。あっ…。んっ…。

ふふ。早いね…。まだ私、全然気持ちよくなって無いのに…。
んっ…。あっ…。はぁ…。はぁ…。
マゾだから。上に乗られてちよっと犯されたら、
簡単にびゅーびゅー、お漏らししちゃうんだ…。
んっ…。あっ…。
ホントに情けないなぁ…。お兄ちゃんは。
あっ…。ふう…。はぁ…。んっ…。

でも…。いいよ。だそっか。
はぁ…。ふう…。
私達の関係をぶち壊しながら、
背徳感たっぷりの、妹への生中出し…。
んっ…。はぁ…。
きつとすごく、気持ちいいよ…。
はぁ…。はぁ…。はぁ…。はぁ…。

【位置…次のセリフ、右耳側0センチへ移動しながら】

ほら、こうやって…

【ここから囁き（有声音）】

ぎゅって抱きつきながら、
激しく腰を、打ち付けてあげる。

んっ、あっ、あっ、んっ。

あっ、あっ、んっ、あっ…。

こういうの、好きだよね。

んっ、あっ…。

マゾで変態な、お兄ちゃんは…。

んっ、はあ…。んっ、ふう…。

こういう犯されて、搾り取られるえっちに、

興奮するんだよね…。

んっ、あっ、はあ…。はあ…。

妹に中出し…。

んっ…。あっ。

今からお兄ちゃんは、妹に、中出しするんだよ。

んっ、あっ、はあ…。ふう…。

我慢できないね。

おちんちん、お漏らししちゃうね。

んっ、あっ…。

理性も、お兄ちゃんとしての尊厳も、

全部おちんちんから、吐き出しちゃう。

頭真っ白になって、無くなっていく…。

はあ…。はあ…。はあ、はあ…。

イケ。イケ。イケ。イケ。

出せ。出せ。出せ。出せ。

ほら、一緒に墜ちよう？ …お射精しよう？

近親相姦、生中出し。

兄弟の関係、おしまいにしよっか。おにーちゃん。

【次のセリフで射精（妹は絶頂してないです。）】

びゅーびゅーびゅー…。

びゅるるー…。びゅるるるー…。

どくどく。びゅくびゅく…。

びゅっ…。びゅっ…。びゅっ…。

ふふ。出てるね。お兄ちゃん。
妹のちっちゃなおまんこに、
びゅーびゅー中出し、しちやってるね…。

気持ちいい？

一度も腰を振らず、良いように犯されて、
情けなくぴゅっぴゅっするの、気持ちいかな。
…そっか。最低だね…。お兄ちゃん。

すう…。ふう…。すう…。ふう…。（耳元で呼吸音2回）

……出し終わった？

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面30センチへ移動しながら】

じゃあ…。おちんちん抜くね…。

ん、しょ…。

ふふ。私のおまんこ、
お兄ちゃんのおちんちんを無理やりねじ込んだせいで、
ぽっかり広がっちゃってる…。

精液が奥から垂れて来て……。
私達、本当に中出しえっちしちゃったんだね。

…ねえ、お兄ちゃん。
これからは雨が降るたび、こうしてえっちするんだよ。
お兄ちゃんが知っちゃいけない、
妹の女の子の体で、おちんちんをいっぱい犯してあげる。

……次の雨が楽しみだね。お兄ちゃん。

トラック4…マイクロビキニ手コキ【貧相な体…】

【位置…正面50センチ】

お帰り。お兄ちゃん。

うん。お布団の上で、お兄ちゃんの帰りを待ってたの。
今日は私、学校早く終わったからさ。

……何か用って、本気で言ってる？

分かってるでしょ？

私は何で、ここにいいのか。

……雨だね。お兄ちゃん。

今日は明日の朝まで、やまないらしいよ。
だから…。えっち。近親相姦、しょ？

ん？ なあに？

やっぱり……？

……。

へえ。そんなこと言うんだ。

…うん。そうだねお兄ちゃん。

やっぱり兄弟でえっちなんて、良くないね。

じゃあ…。辞めよっか。

うん。いいよ、辞めても。

その代わりこの前のことは、お父さんとお母さんに報告すね。
「お兄ちゃんと私は、えっちしました」って。

きつと2人とも、驚くだろうね。
場合によってはお仕事中断して、
無理やり日本に帰ってくるんじゃないかなあ。
娘と息子が不純な関係に堕ちたのを知って、
どんな顔をするのやら……。

ズルい？

ズルいのはどっちかな？

お兄ちゃんが正しさを振りかざすから、
私も正しさを返したただけだよ？

悪いことした子供は、ちゃんと叱られないとだからね。

…大人しく理解しなよ。もう取り返しがつかないって。
歪んだものを元に戻そうとしたって、壊れるだけなの。

…ほら。

ベットにおいで？ お兄ちゃん。

SE…ベットに寝る音

【位置…正面15センチ】

ふふ。まな板の上のコイっていうのかな…。
こうしてベットの上でお兄ちゃんを見下ろすと、
どう捌いてあげようか、ワクワクしてくるよ…。

【位置…次のセリフを言いながらすこしだけ、

右耳側にズれる。（声の移動が欲しいだけです。）】

…えっとねお兄ちゃん。

今日はこの下に、えっちな衣装を、着てきたんだ。

うん。脱ぐから……。見ててね。

【位置…正面斜め右耳側30センチ】

ん……。しょ。

ふふ。驚いた？

そう。マイクロビキニだよ。

黒色で、布面積がとっても小さい水着。

おっぱいもおまたも、ほんの少ししか隠せないし。

ちよっとしたはずみで丸見えになっちゃう、

ドスケベコスチューム。

こんなのAVでしか見たこと無いでしょ？

【位置…次のセリフ、正面30センチへ移動しながら】

ほら。膝立ちで、お尻振ってみせてあげる。

ふり…ふり。ふり…ふり。

ドスケベ水着でおまんこふりふり……。

…えっちなかな？ お兄ちゃん。

ふふ。おちんちん、大きくなった。

こんな貧相な体のマイクロビキニでも、興奮しちゃうんだ。

分かるよ。

お兄ちゃん、一度エッチしたせいで、

妹の体が性的に見えるようになったんだよね。

最近お風呂上りとかによく、

舐めるような視線をお兄ちゃんから感じるもん。

……改めて、もう終わりなんだよ。

お兄ちゃんも、私も。

【位置…次のセリフ、正面5センチへ近づきながら】

うん。だからね。
ここからは全部諦めて、ただえっちを楽しもうよ。
背徳感とか、罪悪感とか、
そんなもの、おちんちん気持ちよくなる調味料にすぎないの。
真面目に考えたって、疲れるだけだから…。
ただ目の前の快樂に、溺れよう？ お兄ちゃん。

【キス、20秒】

ふふ。ちょっと顔つきが変わったね。
少しは妹とエッチする自分の事、肯定出来てきたかな？
そう。そうだよ。
どうせするなら、楽しんだ方がお得なの。
お兄ちゃんは頭が良いね。いい子。いい子…。

【位置…次のセリフ、正面30センチへ離れながら】

……じゃあ、脱がすから。
今日も妹の体で、気持ちよくなろうね。お兄ちゃん。
ぬぎ…。ぬぎ…。よいしょ。
ふふ。やっぱり大きいね。
こんなものが私の中に入ってたんだって思うと、
ちよっと驚いちゃうよ。

あ。でも今日は、私の中には入れてあげないから。
そのつもりでよろしくね。

うん。

私一度、お兄ちゃんのおちんちんが射精するところ、見てみたいんだよね。

だからお外で、私に観察されながら射精して欲しいの。

【位置…次のセリフ、左耳側5センチへ移動しながら】

というわけで、おちんちん握るよ。

…ぎゅっ。

ふふ。熱い…。

ビクン、ビクンって、手に脈動が伝わってくる。

しこしこ…。しこしこ…。

【位置…次のセリフ、左耳側0センチへ近づきながら】

【演技…次の一行は、手コキしやすい体勢を探しながら

お兄ちゃんに身を寄せる描写です。なので位置移動の時、多少声を周りに振りながら移動して欲しいです。】

ん…。ん…。んしょ……。

ふう…。

【ここから囁き（有声音）】

おお。おちんちんビクビクしてるね。

なあに？ 手コキしやすいよう、身を寄せただけなんだけど。

ドスケベ水着の妹に密着されるの、興奮するの？

ほーら。

年端も行かない女の子の、マイクロビキニだよ？

お兄ちゃん。

密着してる薄い小さな布切れの向こうには、妹のピンク色の乳首と、つるつるおまんこがあるの。感触、伝わってるでしょ？

このままお兄ちゃんがちよつと体を動かせば、水着がずれて、乳首もおまんこも、丸見えになっちゃうかもしれないね。

でもお兄ちゃんはどうせ、見えない方がエロいって、思っただけ……

ふふ。やっぱり？
気持ち悪い性癖だね。お兄ちゃん。

……ん？

別に、マイクロビキニを着ること自体は、恥ずかしくは無いかな。多分正気なら、恥ずかしいんだろうけど。
今は私、結構必死だから。

そう。お兄ちゃんが思ってる以上に、私は今、余裕がないんだよ。もっとお兄ちゃんを、妹とのえっちに堕としたくて……。
お兄ちゃんを興奮させるためなら何でもするって言う気持ちで、ここにいるから。

だからこんな、女の子の所だけをわざと隠して、「おまんこ乳首はここです」って強調するようなエロ水着を着ることくらい、何ともないの。これでお兄ちゃんのおちんちんがビンビンになるなら、私のちっぽけな羞恥心なんて、どうでもいいんだ。

……そんなわけだから、マイクロビキニ以外にも、私にして欲しい恥ずかしい姿があったら、なんでもリクエストしてね、お兄ちゃん。

お兄ちゃんが望むなら、

猫耳でお尻の穴に、振動する尻尾を入れてもいいし。

絆創膏とか、鈴付きの洗濯バサミとか、そういうのもつけてあげる。

……私だけ。

私だけは、お兄ちゃんのどんなに攻めた性癖にも、付き合ってあげる。

……ほら。こういうコトも、妹しかしてくれないと思うよ？

お兄ちゃん……

【耳舐め20秒】

……どう？

私のちっちゃなお口で、れろれろって、お耳をしゃぶられるの。気持ちいい？

うんうん。

媚び媚びドスケベ水着な妹の耳舐め手コキ、幸せだね。

性癖理解されまくりで、おちんちんビクビクしちゃうよね。

あとはこのまま、ちょっと意地悪な事して貰えば……。

マゾなお兄ちゃんはすぐおちんちん、

ぴゅっぴゅっしちゃうんじゃないかな？

ふふ。意地悪して欲しいんでしょう？ お兄ちゃん。

「マイクロビキニですり寄られるのもいいけど、

妹にいっぱいいいじめられたいよ。」って。

そういう目、してるもんね。

いいよ。そろそろイジメてあげる。

ただし、今から私が言う言葉を、
お兄ちゃんが復唱してくれたらだけどね。

んー……。ふふっ。
えっとね、お兄ちゃん。

「僕は、妹にいじめられるのが大好きです。」

「僕のおちんちん、
美咲（みさき）の手でいっぱい虐めてください。」

……って。言って欲しいな。

ね。マズなお兄ちゃんなら、これくらい言ってくれるでしょ？
情けなくて恥ずかしい言葉、
女の子に言わされるの、大好きだもんね。

じゃあ……。

【ここからの囁き、無声音で】

復唱しろ。お兄ちゃん。

僕は。

妹にいじめられるのが。
大好きです。

僕のおちんちん。
美咲の手でいっぱい虐めてください。

【ここからまた有声音】

ふふ。ふふふ。ホントに言っちゃうんだ。
変態だね、ホント。

でもそっか。

お兄ちゃんがそこまで私にいじめて欲しいなら、しょうがないね。

……犯してあげるよ。お兄ちゃん。

見ててね。

こうして、お兄ちゃんのおちんちんの先っぽに、
手のひらをぐーって押し当てて、
ぐりぐり……。ぐりぐり……。

ふふ。そんなに甘い声上げて。

亀頭責め、気持ちよすぎる？

お手で先っぽを少し撫でてるだけなのに、
そんなに激しく喘ぎ悶えちゃって……。

とっても感じやすい、よわよわなおちんちなんだね。
お兄ちゃんのは。

あー……。

でもそういえば、この前した初めてのセックスで、
お兄ちゃん私の事、イカせられなかったよね。

私が気持ちよくなる前に、

勝手にびゅーびゅー、お漏らししちゃってさ。

……恥ずかしいね。

女の子を気持ちよくできないうえに、
撫でただけで悲鳴上げる程度のこれが、
お兄ちゃんのおちんちなんだよ？

利用価値なし。ごみおちんちん。

こんなおちんちんの相手をしてくれる女の子なんて、
きっと私くらいモノだろうね。

ほら、亀頭ぐちゅぐちゅ磨きまくって、
おちんちんいっぱい拷問してあげるから。
自分のおちんちんがよわよわなこと、しっかり自覚しようね。
お兄ちゃん……。

【耳舐め20秒】

ん……。お兄ちゃん。
あんまり体、ビクつかせないでくれるかな。
私のビキニ、ズレちゃうんだけど。

お兄ちゃんが言ったんでしょ？
隠れてる方がえっちだって。
なら脱げないように、気を遣うのが当たり前だね。

マゾのくせに自分の性癖を貫き通せないのって、
一番嫌われるらしいよ？
ほら、じっとしててよ。私の水着が脱げないように、
体ビクビク、我慢だよ。

無理……？ 無理なの？
どうしても体、動いちゃう？

ん……。あのさお兄ちゃん。
無理は分かったけど、ごめんなさいは？

うん。ごめんなさいだね。
動くの我慢できなくて、ごめんなさい。

……じゃあ、お兄ちゃん。
仕方ないから。私の体、抱きしめていいよ。
そうすれば多少動いても、一緒に私の体が動く分、
脱げにくいでしょ？

【囁き終了】

【位置…次セリフ、正面斜め左耳側5センチへ移動しながら】

ほら。私の体に腕を回してよ。

おいで、お兄ちゃん。

「ぎゅっ…」って。エロ水着来た妹の体、抱きしめて？

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き（無声音）】

ん。そうそう。力いっぱい抱きしめていいよ。

こんなよわよわおちんちん責められたら、

情けないお兄ちゃんの体に力が入っちゃうのは、
しょうがないからね。

いっぱい妹を抱きしめて、

「僕のおちんちは弱くてゴミで最低な雑魚ちんちんですー」って、
私にアピールするといいよ。

…恥ずかしいね。お兄ちゃん。

【耳舐め20秒】

ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ。

ぐりぐりぐりぐり。

亀さんぐりぐり。ゴミおちんちんぐちゅぐちゅ。

ん？ やめて欲しいの？

そっか、おかしくなりそうなんだ。

亀さんへの刺激が強すぎて、おちんちん壊れちゃいそうなんだね。

ふふ。でもダメだよ、お兄ちゃん。やめてあげない。

別に私、お兄ちゃんのおちんちんが壊れたってどうでもいいし、もつとぐちゅぐちゅ亀さんを磨きまくって、のたうち回るお兄ちゃんを、楽しみたいもん。

ほら、竿もシゴいて、さらに快感を上乗せしてあげる。

シコシコシコシコ。

ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ…。

ダメ？ そっか。ダメなんだ。
気持ちよすぎて、無理なんだ。

うんうん。壊れちゃうね。

気持ちよすぎておちんちん、おかしくなっちゃうね。

大丈夫。

おちんちん壊れても、

私はちゃんとこのおちんちんの相手、してあげるから。
安心しておちんちん、ダメにしていよいよ、お兄ちゃん。ふふふ。

【耳舐め10秒（以下、耳舐め継続しながらセリフ）】

んちゅ…。ちゅぱ…。かわいいよ…。お兄ちゃん…。んちゅ…。
今の…。ちゅ…。あんあんって、悶えてるお兄ちゃん…。
ちゅ…。じゅる…。女の子みたいで…。
はむ…。れろ…。とつてもえっち…。
ちゅ…。じゅる…。あむ…。れろれろ…。ちゅぷ…。
ほら、もつと感じて…。ちゅぱ…。れろ…。おかしくなって？
ちゅ…。ちゅぷ…。れろれろ…。ちゅぱ…。
おちんちん壊そうね…。お兄ちゃん…。ちゅ…。

【引き続き耳舐め15秒】

ん……出る？ お射精、しちゃうの？

ふふ。そっか。

竿をシゴき始めたらすぐ射精しちゃうの、ホントよわわおちんちんって感じだね。

……まあ。いいよ。

そういえば私、

お兄ちゃんのおちんちんが射精するところを観察するために手コキしてるんだっし。

好きなようにビュービュー、
とっても情けないお射精、して見せてよ。

でも、射精したら本当に、

お兄ちゃんのおちんちん、壊れちゃうかもね。

亀さんぐちゅぐちゅされた後の射精…。

気持ちよすぎる快感で、

おちんちんぱーんって、馬鹿になっちゃうかも。

そうになったら、どうなるんだろうね。

一生勃起できないフニャフニャおちんちんになるか、
精液垂れ流しのお漏らしおちんちんになるか……。

まあどうなったとしても、今のよわわおちんちんと大差無いし、
気にしなくて良いんじゃないかな？ ふふふ。

……じゃあ、射精しよっか。

しっかり私が観察しててあげるから。
ゴミおちんちんから恥ずかしい精液、
おちんちん壊しながら吐きだそう？

ほら行くね。もう行くね。

尿道を精液が駆け上がった、鈴口から今にも吹き出しちゃうね。

ごーお。

よーん。

さーん。

にーい。

いち…。

はい。射精しろ。おにーちゃん。

びゅー。びゅー。びゅー。

びゅるるー。びゅるるるー…。

ふふ。見て見て、お兄ちゃん。

根本を支えて、ピンっておちんちんを上に向かせてるから、お兄ちゃんおちんちんの情けないお射精、良く見えるよ？

先っぱから、ぴゅっ、ぴゅっ、ぴゅっ…。って。

「僕は妹にいじめられて気持ちよくなる変態です。」
って証を吐き出してるの。

とっても恥ずかしくて、ゴミおちんちんにお似合いの光景だね。

気持ちいい？

おちんちん壊れちゃうくらい、気持ちいいかな？

うんうん。おちんちんに力入れて、もっと絞り出そうね。

お兄ちゃんおちんちんの無様な射精姿、

じーっと見ててあげるから。

気持ちよすぎるお射精でおちんちんが壊れていくところ、
妹に観察して貰おう？

ぴゅくぴゅく。ぴゅくぴゅく。

ぴゅっ、ぴゅっ、ぴゅっ…。

【耳舐め20秒】

【囁き終了】

【位置…左耳側5センチ】

……ん。出し切ったかな？

ふふ。お兄ちゃん、まだ息が荒いね。

そんなに気持ちよかったの？

やっぱりいいじめられるの、大好きなんだね。お兄ちゃんは。

でも、ホントにおちんちん壊れたらだめだよ？

私、お兄ちゃんといっちょ出来なくなったら悲しいから……。

…うん。じゃあおちんちん、掃除してあげるね。

【位置…次のセリフ、正面斜め左耳側30センチへ移動】

ん、しょ……。

ん……？ なあに？

……あ。

……ふふ。見えちゃってるね。乳首。

ていうかお兄ちゃん、そんなにじっと見つめて来て……。
なんだかんだ結局、見えてる方が好きなのかな？

ふーん。別の良さ、ねえ……。節操ないなあ……。

……いいよ。

それなら好きただけ妹のぷっくり乳首、眺めてよ。
言った通り私、見られても恥ずかしいとは思わないしね。

【位置…正面30センチ】

ほら。水着を上にならして、両方見せてあげる。
小さいけど綺麗なピンク色で、
妹のおっぱい、結構えっちでしょ？

【演技…ここから、分かりやすく照れる】

ん……。

あ。いや…。えっと…。

可愛いって言うのは、ダメかも……。
恥ずかしいとかじゃなくて、普通に照れちゃうから……。

違うんだってばあ、黙って見てよお…。

……もう。お兄ちゃんのえっち…。

トラック5…夜の会話

SE…お兄ちゃんの布団に潜り込む

【位置…次のセリフ、

正面5センチから右耳側5センチへ移動しながら】

ん……。ん、しょ…。

ふう……。

ん…？

別に、エッチしに来たわけじゃないよ？

雨降って無いしね。

私はただ、お兄ちゃんを抱き枕にしに来ただけだよ。
1人で寝るの……寂しいから。

ほら。ぎゅってして？ お兄ちゃん……。

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

うん…。あったかい…。

安心するよ、お兄ちゃんの腕の中…。

……。

……どう？ お兄ちゃん。

妹とのえっちには、慣れてきたかな。

あれから何度も、体を重ねた訳だけど……。

そっか。だいぶ慣れたんだ。

……ふふ。ホントかな。

いや、だってお兄ちゃん、
今までのセックスで一度も、私をイカせたこと無いでしょ？
いつも私が達する前に、
ぴゅっぴゅって、お漏らしお射精して…。
そんな状態で、「だいぶ慣れた」なんて言うのは、
ちよっと無理があるんじゃないかな。

ん？

ふふ。成程ね。

慣れの問題じゃなく、
お兄ちゃんのおちんちんは根本的に、早漏なんだね。
それ、自分で言ってる恥ずかしくないの？ ふふふ。

……私？

私もだいぶ慣れてきたよ。お兄ちゃんとのえっち。

どこを刺激すればお兄ちゃんが感じるのか、
何を言えばお兄ちゃんが喜ぶのか、だいぶ理解してきたし…。

もう私にとっては、
お兄ちゃんのおちんちんなんてお手のモノだよ。
そう。お手のモノ。
これからもいっぱい弄んであげるね。ふふ。

すう…。ふう…。
すう…。ふう…。
(呼吸音2回)

ねえお兄ちゃん。次の雨は、いつ降るの？

ふふ。知ってるくせに。
毎日天気予報、確認してるじゃん。

……。ん。そっか。結構先だなあ。

……じゃあその日までは、こうしてぎゅってして、頑張ってお兄ちゃんとのえっち、我慢するよ。

……。うーん。

雨の日以外にえっちするのは、無しかな……。

それだとなんか、

「雨の日に私を外へ行かせないためのえっち」
っていう名目が薄れて来て、

お兄ちゃん、ちゃんと私と向き合ってくれなさそうだし……。

…そんなことない？

…そうだね。

お兄ちゃんはどんな時も、私と向き合ってくれるよね。
知ってるよ。それくらい。

……。

まあそれでも、ひとまず雨の日だけでいいかな。
うん。

ルールがあった方が、メリハリがつくから……。

だからお兄ちゃんも、次の雨の日まで、
この勃起おちんちん、我慢しようね。

ふふ。とっくにバレてるよ。

妹にくつつかれて、おちんちん大きくしてること。

…相変わらず変態だね。お兄ちゃん。

トラック6…搾精オナホコキ

【位置…正面50センチ】

SE…小雨が降っている

お兄ちゃん……。入るよ。

いや、雨が降り始めたからさ。エッチしに来たんだよ。

気づいてなかったの？

今は小雨だけど、夕立だからすぐ激しくなると思うよ。

SE…雨が激しくなる。

…ほら、言ってる間に、土砂降りになった。

……ところでさ、お兄ちゃん。

なんでそんな、上ずった声だしてるの？

んゝ…？

【位置…次のセリフで右耳側0センチへ近づく】

そっか、何でもないんだ。へえゝ…。

【ここから囁き（有声音）】

オナニーしてたでしょ。お兄ちゃん。

……ふふ。雨の予報が出て無かったから、油断したんだね。

でも、ちょっと浅はか過ぎないかな？

毛布で下半身隠して、素知らぬ顔して…。

これから私とエッチする以上、隠し通せる訳ないのにさ。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、

正面斜め右耳側30センチへ移動しながら】

だーめ。まくっちゃうよ、お兄ちゃん。
ん、しょ…。

おー…。オナホールだ…。

成程ね。今日はそういうオナニーをしてたんだ。

中々雨が降らなくて妹とセックスできないからって、
作り物おまんこで情けなくぬぼぬぼぬちゅぬちゅ、
おちんちんを慰めてたんだね。

ふふ、お顔真っ赤だよ？

オナニー現場を妹に見られて、恥ずかしい？

おちんちんがびくびく、

「僕はさっきまでオナニーしてました」
って脈打ってるの、ホントに滑稽だね。ふふふ。

まあでも良かったよ。

雨が降ったのが、お兄ちゃんが射精する前で。

このままセックス、しょっか。お兄ちゃん。

【位置…次のセリフ、正面30センチへ移動しながら】

…ほら。脱いだよ。
挿れるね…。

んっ…。あっ…。んんっ…。んあっ……。 (挿入)

【位置…次の1行、右耳側0センチへ移動しながら】

はあ…。ふう…。はあ…。はあ…。

【ここから囁き（有声音）】

ふふ。相変わらず大きいね。

みちみちって、小さな妹のおまんこ、おちんちんが押し広げてる。

どう？ オナホールと全然違うでしょ。

あったかくて、締め付け強くて…。

本物おまんこ、最高に気持ちいいね、お兄ちゃん。

SE…ピストン開始

んっ…。あっ…。あっ…。はあ…。

んっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

ほら。今日も妹の騎乗位、始まったよ？

はあ…。はあ…。

情けない一方的なセックス…。

お兄ちゃんはこのが、大好きなんだよね。

んっ…。あっ…。はあ…。はあ…。

あっ…。んっ…。ふう…。ふう…。

オナホはお兄ちゃんの事、犯してくれないけど…。

んっ…。ふう…。

妹の私なら、お兄ちゃんの上に乗って、

パンパン腰を、打ち付けてくれるんだよ。

んっ…。はあ…。

気持ちいいね。幸せだね。

はあ…。はあ…。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

今日も近親相姦に、溺れちゃうね。お兄ちゃん…。
んっ…。あっ…。ふう…。ふう…。

【キス20秒】

ん…。なあに？ お兄ちゃん。
はあ…。はあ…。
…へ？ もう出るの？
いやいや。さすがに早すぎ…って。
あ…。

SE…ピストン終了

…。

あの…。お兄ちゃん。出てるよ…？
びゅーびゅーって、中出ししてるよね。今。

【演技…ここから少し威圧的に】

えーっと…。どういうつもりかな、お兄ちゃん。
まだ私、まったく気持ちよくなって無いんだけど…。
なんで出しちゃうの？

……そっか。オナニーで、射精直前だったんだ。
ふーん…。

【位置…右耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ちよつと情けなさすぎないかな。お兄ちゃん。

女の子を気持ちよくできず、開始数分でビュービューお射精。

理由はどうあれ、男として絶対にやっちゃいけないセックスだよ？

でもそっか。

今回が特別早いだけで、

いつもお兄ちゃんは、こういうセックスをしてたんだったね。

毎回毎回、妹がイク前に射精して…。

女の子を気持ちよくできないダメダメセックスを、

お兄ちゃんは繰り返してるの。

ねえお兄ちゃん。

何か言うことは無いの？

いつもいつも、私が気持ちよくなる前に射精して、
今回に至っては、

もはやセックスが成立しないくらいの早漏お漏らしで。
何か言うこと、あるよね？ お兄ちゃん。

【囁き終了】

【位置…正面斜め右耳側5センチ】

うん。ごめんなさいだね。

おちんちん早漏で、ごめんなさい。

…ふふ。気まずそうに顔背けて……。

オナニーを目撃されたことも含めて、

お兄ちゃんの尊厳は、もうボロボロかな？

【位置…次のセリフで正面斜め右耳側30センチへ移動】

ん……しょ。

じゃあお兄ちゃん。お仕置きしてあげるね。
いつも情けなーく、妹まんこにぴゅっぴゅしちゃう、
ダメダメなお兄ちゃんのおちんちん、
二度とお漏らししないように、私が躡けてあげるよ。

【位置…正面30センチ】

ほら。お兄ちゃんが使ってたオナホール。
これで今からおちんちん、搾ってあげる。

射精直後のおちんちんを責められるの、
凄く苦しくて辛いらしいけど……。
キツイ思いをしないと、
お兄ちゃんのおちんちんはまた簡単にお漏らししちゃうだろうから、
ぐちゃぐちゃボロボロになるまで、しっかり犯してあげるね。

【位置…次のセリフで右耳側0センチへ移動】

だーめ。早漏なのが悪いんでしょう？

【ここから囁き（無声音）】

大人しく私に、ゴミおちんちん差し出せよ。お兄ちゃん。

【囁きを有声音に変更】

…ふふ。じゃあオナホに、おちんちん突っ込んで…。

じゅぽじゅぽ じゅぽじゅぽ。
ぬぷぬぷ ぐちゅぐちゅ…。

……うわ、凄い喘ぎ方してるね。

体ビクビクさせて、激しくあんあんって、甘い声あげて……。

苦しい？

敏感おちんちん、偽物おまんこで容赦なくぬぷぬぷされるの、
感じ過ぎちゃうかな？

でも仕方ないよね。

お兄ちゃんのおちんちんは、
妹をロクに満足させられない、ダメダメなおちんちんで、
お仕置きされるのが当然だもん。

ほら。もっと感じて、もっと反省するんだよ、お兄ちゃん。

頭真っ白になって、辛くて辛くて泣いちゃうくらい、
妹におちんちん追い込んでもらおうね。

お兄ちゃん……。

【耳舐め20秒】

じゅぽじゅぽ じゅぽじゅぽ。
ぐちゅぐちゅ ぐちゅぐちゅ。

お兄ちゃんのおちんちんは早漏おちんちん。
セックスも満足に出来ない。ゴミおちんちん。
ほら、反省しよう？

ざこおちんちん反省して、
「二度と早漏びゅっびゅっしません」って、
心を入れ替えるんだよ。お兄ちゃん。

なあに？ 無理？

そっか、無理なんだ。

これ以上おちんちんぬぷぬぷされたら、おかしくなっちゃうんだ…。

じゃあもつとオナホで、おちんちん追い込まないとね。
ぐちゅぐちゅ　ぐちゅぐちゅ。
ぬぽぬぽ　ぬぽぬぽ。

いやいや、だってそうでしょ。

ダメとか無理とか、そんな弱音を吐くってことは、
まだお兄ちゃんは反省してないってことだもん。

本当に反省してるなら弱音じゃなくて、

「もっとイジメてください」

「僕のゴミおちんちん、沢山罰してください」
って、そういう言葉を言うはずだよ？

まあでも、そうだね。

辛いなら妹の体を抱きしめることくらいは、許してあげよっかな。

【囁き終了】

【位置…次セリフ、正面5センチへ移動しながら】

ほら…。おいで。

女の子に情けなく抱きつきながら、
あんあん悶えて反省しようね、お兄ちゃん。

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

んー…？

無理じゃないでしょ？

ダメでもないよ？

「もっとおちんちんイジメて」…だよな。ふふっ。

【耳舐め20秒】

ふふ。かわいいなあ…。お兄ちゃん。
甘い声上げて、私に必死に縋り付いて……。

よしよし。よしよし。

おちんちん気持ちいいね。

気持ちよすぎて、おかしくなっちゃうね。

あんあんビクビク、女の子みたいによがっちゃうね、お兄ちゃん。

んー…？ なあに？

出ちゃう…？ またお射精、しちやいそうなの？

ふふっ。全くもう、お兄ちゃんさあ……。

分かってる？

今お兄ちゃんは、早漏だからお仕置きされてるんだよ？

それなのにまた性懲りもなく、

ビュービューお漏らししちゃうの？

そっか。我慢できないんだ。

我慢できないからってお仕置き中なのに、

怒られたことまたやっちゃうんだ……。

へえ………。

まあ、別にいいんじゃない？

出したいなら、勝手に出せば。

でも、お兄ちゃんが射精しても私、

オナホをぐちゅぐちゅするの、辞めないからね。

射精したら更におちんちん敏感になって、辛くなると思うよ。

もしそれでいいなら……って、どうせもう、我慢できないか。

出るね。出ちゃうね。お兄ちゃん。

我慢できずに二回目の白いおしっこ、お漏らししちゃうね。

イクイクイクイク。出る出る出る出る。

イっちゃうイっちゃう。おちんちん弱すぎて暴発しちゃう。

はい。お漏らししようね。おにーちゃん。

びゅーびゅーびゅー。

どくどく。どくどく。ぴゅっ、ぴゅっ、ぴゅっ……。

ふふ、出てる。

お兄ちゃんのおちんちん、ホントにまた、お漏らししちゃったね。

恥ずかしいよ？ 情けないよ？

何か言うこと、あるんじゃないかな。お兄ちゃん。

うん。ごめんなさいだね。

精液垂れ流しのゴミおちんちんで、ごめんなさい。

じゃ、オナホでぐちゅぐちゅ、再開しよっか。

ぐちゅぐちゅぐちゅぐちゅ。

ぬちゅぬちゅぬちゅぬちゅ…。

ふふふ…。ホントにヤバそうな喘ぎ方してる。
ていうかお兄ちゃん。泣いてるの？

そっかそっか。ダメなんだ。苦しいんだ。

おちんちん敏感過ぎて、気持ちよすぎて、涙出ちゃうんだ。

うんうん。いっぱい抱きついていいよ。

私はお兄ちゃんにいくら泣きつかれても、

容赦なくおちんちんをぐちゃぐちゃぬちゅぬちゅ、犯し続けるから。

射精しても終わらない、妹のおちんちん拷問、

沢山堪能してよ、お兄ちゃん。

ぐちゅぐちゅ ぐちゅぐちゅ。
ぬちゅぬちゅ ぬちゅぬちゅ。

ふふ。かわいいよ、お兄ちゃん。

涙目で、お顔トロトロで…。

おちんちん犯され過ぎてぐちやぐちやになっちゃったお兄ちゃん、
すごくかわいい……。ふふふ。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

キス…。キスしよう？

お兄ちゃんがあんまり愛らしいから、
ちゅーしたくなっちゃった…。

ふふ。お口ひらきっぱだから、勝手に舌いれちゃうね。

妹の甘いベロチューで、もっとかわいくなってる欲しいな。

お兄ちゃん……。

【キス20秒】

……。あのね、お兄ちゃん。

実をいうと私、別にお兄ちゃんの早漏おちんちん、嫌いじゃないよ。

いつも私に負けて、「ぴゅっぴゅっ」って、

情けなくおまんこにお漏らししちゃうお兄ちゃん、

可愛くて、愛おしいなってんだ。ふふふ。

だからお仕置きしておいてなんだけど、

直しちゃダメだよ？ このよわよわおちんちん。

これからお兄ちゃんは、

簡単に射精しちゃうゴミおちんちんのまま、私とえっちしようよ。

それでまた、情けなくぴゅっぴゅっして、

何度も何度もこんな風に、妹におちんちんお仕置きしてもらおうの。

お兄ちゃんも、それが良いでしょ？

妹にいじめられるの、好きだから、

早漏で恥ずかしいおちんちんで、いたいよね。

ふふ。返事をする余裕もないかな？

ていうか、もうあんまり私の言葉、届いて無さそう……。

…かわいいなあ……

グチャグチャに感じて、涙流して……。

今のお兄ちゃん、ホントにかわいい。

うん。

やっぱりお兄ちゃんは、

よわよわおちんちんのままじゃなきゃダメだね。

これからいっぱい、お仕置きしなきゃだもん。ふふふ。

【深めのキス20秒】

ん？

ふふ。そっか。また出るんだ。

三回目の早漏お射精。

また恥ずかしくてかわいい、

お兄ちゃんによわよわおちんちんを、妹の前で披露しちゃうんだね。

よしよし。よしよし。

オナホ気持ちいいね、お兄ちゃん。

妹に偽物おまんこで搾られて、ビクビクがくがく、

痙攣しながら三回目のお射精、もうすぐだね。

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き（有声音）】

ほら、もう伊っちゃう。もう伊っちゃう。
頭ぐちやぐちやで意味わからないまま、
おちんちんからドクドクびゅーびゅー、
お漏らし精子垂れ流しちゃう。

ごーお。

よーん。

さーん。

にーい。

いち。

はい。射精しろ、おにーちゃん。

【耳舐め20秒】

…出し切った？

…よし。じゃあお仕置きは、ここまでにしよっか。
うん。

流石にお兄ちゃん、限界みたいだし、これで許してあげるよ。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面30センチへ移動しながら】

オナホからおちんちん、抜くね。
ん、しょ……っと。

おお…。おちんちんぐちやぐちやだ…。

…ふふ。大丈夫？ お兄ちゃん。
目の焦点も会わず、ぼーっとしちやってるけど。
流石にやりすぎ？

そうかなあ。お兄ちゃん、楽しそうだったけど……。

…ん。休憩ね。

【位置…次のセリフ、右耳側5センチへ移動しながら】

じゃあ私も、一緒に寝るよ。

それで起きたら…。二人でお風呂、入りたいな。

……おやすみ、お兄ちゃん。

トラック7…雨の中の思い出

【位置…正面50センチ】

…お帰り、お兄ちゃん。

そうだね。雨が降ってる。

だからお兄ちゃんの事、待ってたんだ。

……でも、えつと…。

その前にさ。一つお兄ちゃんに、聞きたいことがあるんだよね。

あの、お兄ちゃん。

これ…。何……？

……そっか。やっぱり、ラブレターか。

昨日の夜ソワソワしてたのは、これが原因だったんだね。

ううん。怒ってないよ？

お兄ちゃんが魅力的なのは、私が一番よくわかってるし、告白を受けるのはどうしようもないからさ。

というか怒られるのは普通、引き出しを勝手に漁った私じゃないかな。

……それで。なんてお返事したの？

そう。まあお兄ちゃん、真面目だしね。

妹とこういう関係でいる以上、浮気なんかしないよね。

……でも。お兄ちゃん。

今日はちよつと、えっちは無しにしよっか。

楽しみにしてたなら、ごめんだけどさ。

あんまり私、その気になれなくて……。

……外にいるから。
しばらく経ったら、迎えに来てよ。

……ごめんね。お兄ちゃん。

場転

SE…雨の音

あ。お兄ちゃん…。
しばらく経ったらって言ったのに、十分も経ってないよ？

そっか。心配か。

そうだね。お兄ちゃんはこれを辞めさせるために、
私からのエッチの誘いを、受け入れたんだもんね。

……でも。でもさ、お兄ちゃん。
今日は傘、しまってくれないかな。

隣、座って…。

一緒に雨に打たれてよ。お兄ちゃん……。

SE…座る

SE…雨音が強くなる

【位置…右耳側30センチ】

……どう？ 雨に打たれる気分は。悪くないでしょ。

こうして自分に降り注ぐ雨空を眺めると、
空に、溶けていくようで…。

悩みとか、葛藤とか、

そんなちっぽけなモノ、どうでもよくなるよね。

体は……冷えちゃうけどさ。

……。

……ねえ。お兄ちゃん。

昔、遠くの神社にお参りに行ったこと、覚えてる？

そうそう。その神社。

確か、健康祈願で有名な神社でさ。

昔から体の弱かった私の健康を願うために、
例大祭に合わせて、

お兄ちゃんと二人でお参りに行ったんだよね。

……でも。

お参りが終わって、電車で地元に戻って来たら、雨が降ってて、
傘も無いから二人で、濡れながら帰ることになったの。

そしたら不幸なことに、
帰り道で私が滑って、足をくじいて歩けなくなっちゃって…。

……それも、覚えてる？

そっか。

私もこのことが、鮮明に覚えてるよ…。

……私さ。足をくじいた時、絶望したんだ。

「ああ結局、神様なんかいないんだ」って。

お参りしたところで、理不尽も不幸も関係なく降り注いで。
私の体もきつと、一生元気にはならないんだろうなって。
そう思った。

だけど。だけどさ。

そんな私をお兄ちゃんは、おぶってくれて、
病院に連れて行ってくれたんだよ。

雨の中、必死に歩いて、
いっぱい私の事、励ましてくれたの。

「大丈夫、お兄ちゃんがついてる」

「頑張れ、大丈夫だから」って…。

おぶわれた背中も、その言葉も、あったかかったなあ…。
神様なんかいなくても、別にどうでもよくなるくらい…。

……。

でも。

この時したお兄ちゃんへの恋は、私にとっては呪いだっただ。

そう。呪い。

…昔は良かったの。

お兄ちゃん大好きで、将来はお兄ちゃんと結婚するんだって、
何にも疑わずに、お兄ちゃんと楽しく過ごせたから。

……けど年を重ねるごとに、

兄弟じゃ結婚できないって現実が、理解と共に首をもたげて…。
……お兄ちゃんと接するのが、どんどん辛くなって…。

…あのね、お兄ちゃん。

私がこうして雨に打たれるのは、昔の自分に戻るためなんだよ。

アルバムを見返して、ノスタルジー浸ることって、あるでしょ？
それと同じで私は、

お兄ちゃんに恋をしたあの日と同じ状況に身を置くことで、
盲目的にお兄ちゃんとの日々を楽しんでいたあの頃に、
退行してたんだ。

お兄ちゃんが離れていくっていう現実から、逃げるためにね…。

うん。

お兄ちゃんにえっちを持ち掛けたのも、そういうことだよ。

お兄ちゃんと添い遂げる未来が見えない限り、

私はこの、雨に打たれる行為を辞めることはできないから。
だからあの日、交換条件として、

私はお兄ちゃんにえっちを提示したの。

そしたらお兄ちゃん、案外簡単に了承してくれたよね。
それで今の、

雨が降るたびにお兄ちゃんといえちできる日常が、私に訪れて……。
ホント、ここ最近は夢のようだったよ。

このままいけば私はお兄ちゃんと結婚できて、
もう雨に打たれる必要も無いんだと、本気でそう思ってたの。

……けど。

お兄ちゃんがラブレターを貰ってるのを見て、
夢から覚めた気分になった。

いまだに些細なきっかけで、

お兄ちゃんが私から離れていく可能性があるんだって、
そう考えたらまた私の中の、未来への悲観が心を染めて……。

雨の中に飛び出さずには、いられなかったんだ……。

……。

そんな顔しないでよ。

心配しないでも実は私、もう覚悟をきめたから。

そう。覚悟。

【位置…正面50センチ】

ここで泣いてたらさ、
手に持ってた、お兄ちゃんが貰ったあのラブレター、
風で飛んでっちゃったんだよね
それで、水たまりにおちて……。
ぐちゃぐちゃになったちゃったの。

ほら、これ……。

SE…ラブレターを見せる

すう……。ふう……。 (一呼吸置く)

【演技…ここからはっきりと宣言する】

ざまあみろって思った。

「お兄ちゃんを理解できるのは私だけなんだ」って。

「セックスも付き合いの長さも、

全部私に、他の女に渡すもんか。」って。

……そう思うことが出来たから。

もう私、覚悟が決まったんだ。

お兄ちゃん。私もう、雨の中に逃げたりしない。

ここまで来たら、やり通さなきゃね。

思ったより、私の夢は手の届くところにあるみたいだし。

いつか。どんな手を使っても、

お兄ちゃんには私と結婚してもらおうよ？

逃がさないから。お兄ちゃん。

トラック8…らぶらぶえっち

【位置…左耳側30センチ】

ただいま。

そうだね。二人ともびしょ濡れだ。

でもお兄ちゃんが上着を貸してくれたから、寒くはないよ。

いや、何言ってるの？ お兄ちゃん。

シャワーなんか浴びないって。

このまま服だけ脱いで、えっちしようよ。
今はそういう気分だから。

ほら。洗濯カゴに全部放り込んで。

ベットに行こ？ お兄ちゃん。

場転

【位置…正面30センチ】

ふふ。お互いちょっと、肌が濡れてるね。
しっとり雫がつたって、結構えっちかも。

【位置…次のセリフ、左耳側0センチへ近づきながら】

このまま…、塗れた肌をひんやり重ねて……。

【ここから囁き（有声音）】

えっちしようね…。お兄ちゃん…。

んっ…。あっ…。んんっ…。んあっ……。 （挿入）

はあ…。はあ…。はあ…。

…入ったよ。おちんちん、入った。

…えっとね、お兄ちゃん。

今日のえっちは…。ちよつと譲歩してあげる。

うん。

お兄ちゃん、セックスで私をイかせたこと、一度も無いでしょ？
でも今日は、

できるだけ女の子側が気持ちよくなれるセックスをして、
お兄ちゃんのおちんちんで妹がイっちゃうところ、
見せてあげようかなって。

ほら。こうやって…。

んっ…。はあ…。

前後に…。動いて…。

はあ…。はあ…。

クリをお兄ちゃんの体に…擦り付けるの…。
んっ…。あっ…。はあ…。ふう…。

こうすると…。

んっ…。ふう…。

私、いっぱい感じるから…。

はあ…。はあ…。

お兄ちゃんのおわーいおちんちんでも…。
んっ。あっ…。

ちゃんと気持ちよく、なれるよ…。

あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

一緒に気持ちよくなる…？ お兄ちゃん…。

はあ…。はあ…。

妹とらぶらぶえっち…。しよーね…。

んっ…。ふう…。はあ…。あっ…。
あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

気持ちいいよ…。セックス…。

んっ…。あっ…。

気持ちよくて…。どんどんおまんこ、トロけちゃう…。

はあ…。はあ…。

おちんちん気持ちいい…。んっ…。はあ…。

お兄ちゃんちんちん、気持ちいいよ…。

んっ…。ふう…。あっ…。んっ…。

…ふふ。嬉しいね。お兄ちゃん…。

んっ。あっ…。

普段イかせられない妹が、

お兄ちゃんのおちんちんで気持ちよくなってるの…。

ふう…。はあ…。

うれしいね…。

はあ…。はあ…。んっ…。はあ…。

…でも。勘違いしちゃだめだよ？

んっ…。あっ…。

今私を感じてるのは、私が気を遣ってるから…。

はあ…。はあ…。

こうやって…。お兄ちゃんの体にクリトリスを擦り付けて…。

んっ…。ふう…。

わざと感じてあげてるから…。今のセックスが成立してるの……。

あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。

依然としてお兄ちゃんのおちんちんは、

んっ…。あっ…。

よわよわ早漏おちんちんの、まだまだから…。

んっ…。ふう…。

他の女の子を気持ちよくできるとか…。

勘違いしちゃダメだからね…。

あっ…。ふう…。はあ…。はあ…。

私だけ…。んっ…。あっ…。
こういうちゃんとしたセックスをさせてくれるのは、妹だけ。
んっ…。ふう…。

【囁き終了】

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

だから、ずっと…。
はあ…。はあ…。
ずっと私とだけ、生ハメえっちしてようね…。
お兄ちゃん…。

【キス20秒】

（以下2行引き続きキス。

「はむっ…」でお兄ちゃんの舌をかむ）

んちゅ…。んちゅう…。ちゅ…。ちゅぷ…。
「はむっ…」んっ…。ちゅぱ…。（キス終了）

んー…？ なあに？ お兄ちゃん。
んっ…。ふう…。
そうだよ…。お兄ちゃんの舌、噛んだの。痛かった？
あっ…。んっ…。はあ…。はあ…。
ふふ。そっか。
よしよし…。痛かったね。お兄ちゃん…。
んっ…。はあ…。ふう…。ふう…。

ん？ なんで噛んだか、なんて…。
んっ…。あっ…。
ふふ…。ちよっとイジメたかったただだよ…。
はあ…。ふう…。
ほら。もっとキス…。しよ？

【浅めのキス10秒】

だーめ。お兄ちゃん…。もつとちゃんと…、舌絡めてよ。
んっ…。ふう…。はあ…。はあ…。
…うん。また噛むよ。
んっ…。あっ…。

噛むけど、舌絡めて。お兄ちゃん。
ふう…。はあ…。
いいでしょ…。

お兄ちゃん、いじめられるの大好きだから…。
んっ…。ふう…。
妹がくれる痛みなら…。気持ちよくなれるよね…。
はあ…。ふう…。んっ…。あっ…。
ほら、噛んでイジメてあげるから…。
舌つきだそうね…。お兄ちゃん。
はあ…。はあ…。ふう…。はあ…。

ふふ。いいこ…。
痛くても、ひっこめちゃダメだよ？
んっ…。あっ…。
いっぱい噛んであげる。お兄ちゃん…。

【引き続きキス20秒】

(3回くらい噛む描写が欲しいです)

ふふ。痛いね…。お兄ちゃん。
んっ…。ふう…。
痛いの、ちゃんと妹とキスし続けて、とってもいい子だね…。
あっ…。んっ…。ふう…。はあ…。
かわいい…。かわいいよ。
んっ…。はあ…。
イジメてあげる…。ずっと、イジメてあげる…。
私の、お兄ちゃん…。

【引き続きキス20秒】

(同じく2回くらい噛む描写)

んっ…。あっ…。はぁ…。ふう…。
あっ…。んっ…。ふう…。はぁ…。

噛まれる痛みも…。おまんこの快感も…。

んっ…。ふう…。

体の温かさも…。キスの味も…。

はぁ…。はぁ…。

妹の体のこと全部…。お兄ちゃんに教えてあげる…。
はぁ…。はぁ…。んっ…。あっ…。

どこまでも…。どこまでも…。

んっ…。ふう…。

知っちゃいけない妹の裸に、沈めてあげる…。

はぁ…。はぁ…。あっ…。んっ…。

私達、これからどうなっちゃうのかなぁ…。

んっ…。あっ…。

ふふ。楽しみだね。お兄ちゃん…。

【キス20秒（これは噛まなくていいです）】

ん…。そろそろ？

んっ…。はぁ…。

良いよ…。私もちゃんと、イキそうになってるから…。

ふう…。ふう…。

最後は一緒に、中出し絶頂、しようよ。

【位置…次の喘ぎ、左耳側0センチへ移動しながら】

あっ…。んっ…。ふう…。はぁ…。

【ここから囁き有声音】

うん、出して良いよ。
んっ…。あっ…。
妹のおまんこに、中出ししていいよ…。
あっ…。はあ…。

だして。だして。

中出しして。中出しして。

ほら一緒に。

ぎゅってして、一緒に。

あ、ダメ…。もう、イク。

お兄ちゃん。お兄ちゃん。

お兄ちゃんお兄ちゃんお兄ちゃん…。

イッ…。ク…。！（絶頂）

はあ…。はあ…。はあ…。

はあ…。はあ…。はあ…。

うん、いったよ。

お兄ちゃんのおちんちんで、妹おまんこ、絶頂したよ…。

ふふ。嬉しい？

【位置…次のセリフ、正面5センチへ移動しながら】

そっか。私も、嬉しいや…。

【優しめのキス15秒】

…お兄ちゃん。

…大好き。

トラック9…添い寝

SE…扉を開ける音

【位置…正面斜め右耳側50センチ】

いや。夜這いじゃないよ。

えっちなら昼間したし、これ以上襲ったら迷惑でしょ？

だから、一緒にねるだけ。お兄ちゃんを抱き枕にしに来たの。

ほら、場所開けて。お兄ちゃん。

SE…ベットに寝る

【位置…左耳側0センチ】

【ここから囁き】

…あったかい、

お兄ちゃんの体は、いつもぬくぬくだね…。

良い抱き枕だよ…。

…ん？

そうだよ。甘えん坊なの。

反抗期なんか絶対に来ない、お兄ちゃん依存の妹。

知ってるでしょ？

うん。じゃあこのまま、甘えたまま寝かせてよ。

おやすみ、お兄ちゃん。

【呼吸音、20秒】

あのさ、お兄ちゃん…。

そろそろさ、雨があんまり降らない時期に、なるんだよね…。
うん…。だから…。その。

これからは晴れの日もえっち、するようにしない？

別にいいよ？

前は雨の日だけで良いって、言ったけど。

お兄ちゃんと結婚することを考えたら、

この面倒なルールも、無くしていくべきかなって思うし。

むしろ私、

お兄ちゃんとは毎日エッチしたいなって、思ってるかもだし…。

…ん。ダメなの？

メリハリ…。メリハリねえ…。そんなのいるかな。

羽目を外してエッチしまくる生活だって、

全然ありだと思うけど…。

ふーん…。めんどくさいね、お兄ちゃん…。

【呼吸音、20秒】

【演技…リラックスした感じで】

んー。じゃあ雨が降らない時期になったら、

私毎晩寝るとき、お兄ちゃんの横でオナニーしちゃうね。

お兄ちゃんがムラムラして、

「晴れの日でもエッチしたい」ってなるまで。

耳元で妹の喘ぎ声、聞かせ続けちゃう。

ふーん。我慢できるんだ。

自信满满だなあ…。妹に勝てたこと無い癖に。ふふ…。

【呼吸音、20秒】

【演技…少し眠くなってくる】

【位置…次の一行で、正面を通して右耳側のセンチへ移動】

【次の一行だけ囁き中断】

ん…。ん…。んっ…。

…うん。上に乗って、寝る。

この体勢の方が、安心するから。

こうやって、お兄ちゃんを捕まえて置かないと。
どこに行くか、分ないし。

良いでしょ？ 重くないよね…。私…。

いや、そこは重くないって言ってよ。
どかないからね。ばーか。

【呼吸音、20秒】

お兄ちゃん…。

来年になったら、私、お兄ちゃんの学校に進学するんだよ。
そう。一年だけ、一緒に登校できるの。

…そうになったらさ、お兄ちゃん。

毎日おてて繋いで、登校してね。

んーん。だめ。恥ずかしいとか、知らない。
他の女を、けん制しないとだもん。

【呼吸音、20秒】

【演技…だいぶ眠い状態】

んー…。お尻触らないで…。お兄ちゃん…。
セクハラするなら…。いっそ襲ってよ…。

ん…。違うの？ 当たっただけか…。
それはそれで、むかつくなあ…。
セクハラしてよ…。お兄ちゃん…。

【呼吸音、20秒】

【演技…半分眠ってて、ろれつも回らない感じ】

…あったかい…。好き…。
お兄ちゃんのぬくもりも…。においも…。
私を包んで…。
…ねむい…。

【呼吸音10秒】

だから、どかないって言ってるし…。
お兄ちゃんも、このまま寝ればいいじゃん…。

【呼吸音30秒】

夢でもそばにいてね。
お兄ちゃん…。